

社協だより



第27号

平成22年5月1日

社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会
三重県伊勢市御園町長屋2767番地
TEL.0596-20-8610 FAX.0596-20-8617
Email:ise-well@amigo.ne.jp
http://www.amigo2.ne.jp/~iseshakyl/



みんな
で
和・
輪・
笑
たのしもう！
共同募金配分金事業

3月28日(日)、二見老人福祉センターで、「みんなで和・輪・笑ったのしもう！」と題した三世代交流事業が開催されました。

この事業は、昔の遊びや地域の文化を通じて、世代間の交流を図ることを目的に、二見三世代交流事業運営委員会が企画・実施したもので、約400人の参加がありました。

二見の伝承踊り「二見かえる」がこの日のオープニングを飾り、その後、参加者は会場で行われた餅つき・きな粉づくりを体験したり、コマまわし・めんこといった昔の遊びにふれて楽しめました。また、CDを使ったコマやストロー飛行機づくり、真珠のアクセサリーやビーズストラップづくりも行われました。

昔ながらの遊びとともに、地域の人のつながりのあたたかさが伝わる催しとなりました。

赤十字活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社員増強運動が、今年も5月1日から展開されます。

日本赤十字社では、災害救護、国際活動、医療活動と看護師養成、血液事業、奉仕団、青少年赤十字活動などを行っています。また、伊勢市地区では、火災や水害の被災者へ配布する災害救援物資の備蓄や各種講習会を開催しております。このような事業は皆様からご協力いただいている事業資金で行われています。赤十字活動の趣旨をご理解のうえ、本年もご協力をお願いします。

日本赤十字社 三重県支部伊勢市地区

平成22年度共同募金配分金事業 各種助成事業のご案内について

平成21年度、地域のみなさまからご協力いただきました共同募金の配分金より、地域福祉の推進を図るため、下記のとおり助成事業を行っています。

- 福祉施設等活動助成
- 福祉団体活動助成
- 児童公園遊具等整備助成
- こども会等行事助成
- 地域見守り活動事業助成
- 高齢者乳酸菌飲料等宅配サービス

各事業に関する問い合わせ先 伊勢市社会福祉協議会 本所
電話/20-8610 FAX/20-8617



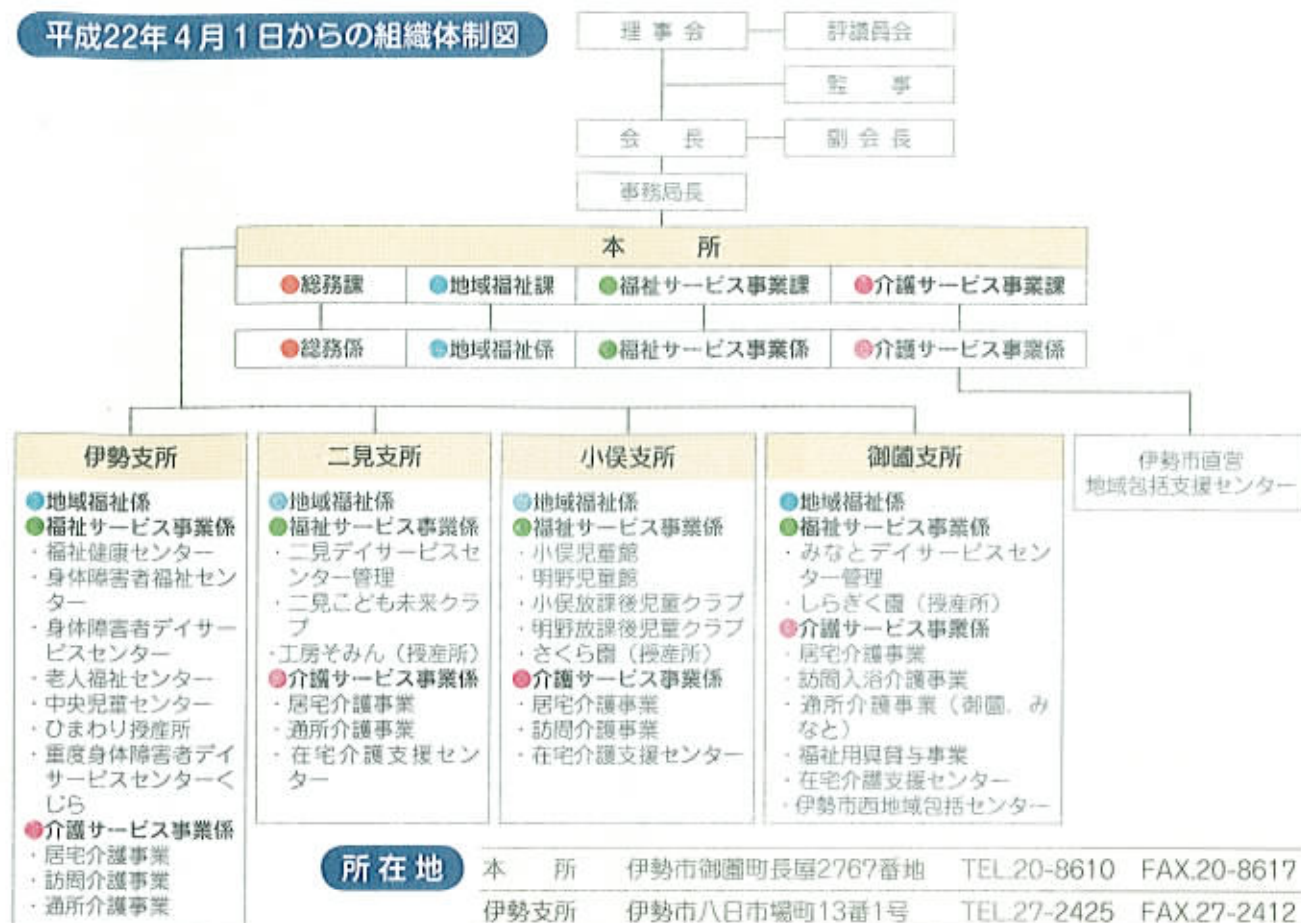
← 携帯電話から伊勢市社会福祉協議会のブログへアクセスできます。

(QRコード対応携帯電話からご利用下さい)

社協だより 平成22年5月1日 第27号
(福)伊勢市社会福祉協議会
この広報は再生紙を使用しています。

伊勢市社会福祉協議会の組織が変わりました

平成22年4月1日からの組織体制図



所在地

本 所	伊勢市御園町長屋2767番地	TEL.20-8610	FAX.20-8617
伊勢支所	伊勢市八日市場町13番1号	TEL.27-2425	FAX.27-2412
二見支所	伊勢市二見町茶屋456番地2	TEL.43-5551	FAX.43-4427
小俣支所	伊勢市小俣町元町536番地	TEL.27-0509	FAX.27-0570
御園支所	伊勢市御園町長屋2767番地	TEL.22-6617	FAX.22-6604

事業の概要

I 総務・地域福祉事業

1. 法人運営基盤強化の推進
 - 第6回伊勢市社会福祉大会の開催（伊勢市と共催）
 - 社協だよりの発行
 - 公式ホームページの運営
 - 共同募金事業
 - 日本赤十字社事業
2. 地域福祉活動の推進
 - 地域福祉活動計画の推進
3. 小地域推進事業
 - ふれあい・いきいきサロン
 - 高齢者会食サービス
 - 活動助成事業（こども会、地域見守り、児童公園遊具等整備、福祉施設・福祉団体、市民活動等）
 - 高齢者乳酸菌飲料等宅配サービス
 - 福祉出前トーク
 - 三世代交流

II 福祉サービス事業

1. 指定管理事業の実施
 - 福祉健康センター
 - 老人福祉センター
2. 地域福祉権利擁護事業
 - 地域福祉金庫
 - 入れ歯リサイクルボックスの設置
3. 福祉サービス利用援助事業
 - 地域福祉権利擁護事業
4. ボランティア活動者の養成と支援
 - レクリエーション物品や福祉体験グッズの貸出
 - ケープルテレビ行政情報番組を通じての情報提供
 - 入門講座や専門講座の開催
 - 市内の小中高校を対象とした福祉教育支援
5. 住民の福祉ニーズ把握、啓発機能の充実
 - 相談事業（総合相談、無料法律相談、心配ごと相談）
 - 貸付事業（生活福祉資金、地域福祉金庫）
 - 相談事業（総合相談、無料法律相談、心配ごと相談）
6. 福祉サービス利用援助事業
 - 地域福祉権利擁護事業

平成22年度 伊勢市社会福祉協議会事業計画

平成22年3月26日（金）の理事会、評議員会において、平成22年度事業計画と一般会計・特別会計予算が承認されました。

- ・身体障害者福祉センター
- ・身体障害者デイサービスセンター
- ・重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」
- ・放課後児童クラブ(3施設)
- ・児童館(3施設)
- ・小規模授産施設(4施設)
- ・デイサービスセンター管理(2施設)
- Ⅲ 介護サービス事業
- 1. 介護保険事業
 - ・居宅介護支援事業
 - ・通所介護事業
 - ・訪問介護事業
 - ・訪問入浴介護事業
 - ・福祉用具貸与事業
- 2. 障害者自立支援事業
 - ・居宅介護事業
 - ・移動支援事業
 - ・障害者デイサービス事業
- 3. 地域包括支援センターの受託運営
 - ・伊勢市西地域包括支援センター
- 4. 各種在宅福祉サービスの受託運営

平成22年度 一般会計収支予算

収入 (千円)	支出 (千円)
会費収入 7,419	人件費支出 594,792
寄附金収入 1,001	事務費支出 88,838
受託金収入 33,789	事業費支出 111,736
指定管理料 179,004	貸付事業等支出 720
事業収入 3,172	共同基金配分金事業費 16,535
貸付事業等収入 880	助成金支出 6,231
共同基金配分金収入 16,980	負担金支出 996
負担金収入 113,872	経理区分間繰入金支出 8,365
居宅介護料収入 329,747	本所・支所間繰入金支出 53,030
居宅介護支援介護料収入 116,392	固定資産取得支出及び繰入支出 18,860
利用者等利用料収入 13,002	積立預金積立支出 15
その他の事業収入 11,438	その他の支出 2,839
自立支援費等収入 21,363	予備費 239,974
補助事業等収入 16,649	合 計 1,142,931
私的契約利用料収入 45	
雑収入 1,561	
受取利息配当金収入 1,800	
経理区分間繰入金収入 8,365	
本所・支所間繰入金収入 53,030	
前年度繰越金 213,422	
合 計 1,142,931	

平成22年度 小規模授産施設特別会計 収支予算

収入 (千円)	支出 (千円)
授産事業収入 3,559	授産事業支出 3,467
共同基金配分金収入 41	人件費支出 37,233
指定管理料 48,318	事務費支出 974
寄附金収入 61	事業費支出 4,125
雑収入 21	本所・支所間繰入金支出 2,477
受取利息配当金収入 1	固定資産取得支出及び繰入支出 4,950
本所・支所間繰入金収入 2,477	その他の支出 101
前期繰越金 15,434	予備費 16,585
合 計 69,912	合 計 69,912

- ・在宅介護支援センター事業
- ・障害者訪問入浴事業
- ・生きがい活動支援通所事業
- ・生活管理指導員派遣事業
- ・家族介護者交流事業
- 5. その他
 - ・伊勢市直営の地域包括支援センターへの職員派遣
 - ・介護保険認定審査会審査員派遣
 - ・ふれあい有償サービス実習受入

第14回 ふれあい広場 ～広げよう! つなげよう! ボランティアワールド～

- 開催日時** 5月16日(日)午前9時30分～午後1時30分(雨天決行)
- 場所** 二見老人福祉センター前駐車場周辺(二見町茶屋348)
- 内容**
- ★ふれあいステージ 午前9時30分～午後1時30分
 - ・オーブニングセレモニー(二見太鼓保存会・二見中学校プラスバンド部)
 - ・ペンギンたちとのふれあいタイム、マジックショー、3B体操、健康体操、観光戦隊「イセシマン」ショー、子ども紙ひこうき飛ばし・フラフープまわし大会、人権啓発コンサート、クイズ大会、お菓子・もちまきなど
 - ★ふれあいコーナー 午前10時～午後0時30分
 - ・紙ひこうき、フラフープ、ミニ機関車
 - ★福祉体験コーナー 午前10時～正午
 - ・車いす体験
 - ★広場 午前10時～午後1時30分
 - ・屋台コーナー(焼きそば、伊勢うどん、フランクフルト、焼き芋、コロッケ、ヨーヨーつり、生花・もち・野菜販売、日用品・育児用品バザーなど)
 - ・授産施設の自主製品販売
 - ・防災啓発コーナー など
- 今年のテーマは「エコ」マイバッグ、マイ箸持参にご協力をお願いします。



昨年の「ふれあい広場」

問合せ先 ふれあい広場実行委員会事務局(伊勢市社協二見支所内) 電話 43-5551

福祉健康センター 短期はつらつ教室

参加者募集

対象 伊勢市在住の昭和25年4月1日以前にお生まれの方（満60歳以上の方に限ります）。原則として以前に受講された方は同じ教室は参加できません。

場所 福祉健康センター（八日市場町13-1）

応募方法 希望者は、往復はがきにて参加希望教室名・住所・氏名（ふりがな）・生年月日・電話番号（携帯可）を記入のうえ、

〒516-0076

伊勢市八日市場町13-1

伊勢市社会福祉協議会

伊勢支所

までお送りください（往復はがき1枚には1教室のみ）。締切りは5月15日（土）到着分までとします。

なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。また、定員の半数に満たない場合は開催いたしませんのであらかじめご了承ください。

※ちぎり絵教室については先着順とします。

1 デジカメ教室

内容 デジタルカメラで撮った写真をパソコンで加工します。

開催日 5月25日（火）、6月8日（火）、6月22日（火）、7月6日（火）

時間 午前9時30分～11時30分

定員 10名

持ち物 デジタルカメラ

材料費 600円程度

2 折り紙教室

内容 折り紙を使って作品をつくります。

開催日 5月26日（水）、6月23日（水）、7月28日（水）

時間 午後1時～3時

定員 23名

持ち物 はさみ、ものさし、えんぴつ、手芸用ボンド、竹くし

材料費

1回につき800円程度



3 ちぎり絵教室（再募集）

内容 和紙などを使って作品をつくります。

開催日 毎月第1水曜日

時間 午前9時30分～正午

定員 若干名

持ち物 筆記用具

材料費 千円～2千円程度

おはなし隊 がやってきた！

3月17日（水）、明野児童館に「講談社 本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が来館しました。

子どもたちは、キャラクターの絵本の中にあるたくさんの絵本の中から、思い思いの作品を手に取り、夢中で読んでいました。また、絵本や紙芝居の読み聞かせも行われ、楽しかったです。



中には珍しい本もあり、子どもたちからは「こんな本見たのはじめて！」という声も聞かれました。子どもたちにとって、とても貴重な体験となったようです。

寄附者ご芳名

平成22年2月～3月

ありがとうございました

匿名様 5,000円
明野母親クラブ様 空気清浄機2台111,000円相当
伊勢路物語2010実行委員会様 手動式介護用ベッド1台10万円相当
伊勢市ボランティア連絡協議会様 30,000円
小俣母親クラブ様 掃除機1台20,724円相当
匿名様 6,000円
匿名様 和紙、折り紙1万円相当
山崎ショップわがば様 8,415円

匿名様 5,000円
財団法人郵政福祉様 AED（自動体外式除細動器）一式30万円相当
小俣小学校児童会様 オープンレンジ13,000円相当
匿名様 車椅子1台14万円相当
伊勢市立厚生小学校児童会様 児童遊具一式5万円相当
二見とんがちボランティアの会様 20,000円
匿名様 2,321円
伊勢朗読会様 20,000円

三重ボランティア基金 へのご協力 ありがとうございました

伊勢市社協本所・各支所内に募金箱を設置したところ、平成21年度中に、合計19,756円のご協力をいただきました。いただいた寄附金は、福祉活動をするボランティア団体の活動支援を行うための助成に活用されます。

地域懇談会の結果報告

現在、伊勢市と伊勢市社会福祉協議会は、人と人とのつながりを基本とした「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定し、伊勢市に住む市民全てが幸福に暮らせるために地域福祉の推進を行っています。

このたび、本計画の主旨をご理解いただくため、平成22年1月～3月の3ヶ月間にわたり、伊勢市内23地域に出向き懇談会を開催しました。485名の市民の方にご参加いただき、多数の貴重なご意見をいただきましたので、下記のとおり報告させていただきます。

～ 市民の皆様からのご意見（一部抜粋）～

【課題】

- 総合的な健康づくりの場所がほしい。
- 一人暮らし高齢者は掃除が大変なので、ゴミ屋敷になりかねない。
- 生活に密着した内容で、高齢者の移動手段を確保してほしい。
- 一人暮らし高齢者の中で、送られてくる書類の手続きが出来ずに困っている人がいる。
- 高齢者が身近で安全にリハビリ運動ができる場所がほしい。
- 高齢者がお金もかからず地域で集まれる場所がほしい。
- 子ども達が利用できる公園がなく、遊ぶ場所もない。公民館もないので設置してほしい。
- これからもできるだけ学童保育で多くの子ども達を見てほしい。
- 防災マップづくりをお願いしたい。
- 地区懇談会の参加者が少ない。 など



【提案】

- 一人一人の住民が地域を知ることが大事である。
- 地区それぞれでアイデアを出すことが大切。
- 地域内の良い事例などの情報を流して教えてほしい。
- 障がい者支援を個人ではなく、組織で動いてはどうか。
- 子どもの遊び場として、空いた土地の有効利用はどうか。
- 向こう三軒両隣の中での日常活動が大事ではないかと思う。
- 防災・防犯組織作りから始めたら住民の関心が大きくなるのではないかなど



今回の結果をふまえ、さらなる地域福祉の発展のため、今年度も地域懇談会にて生活課題を把握し、解決に向け市民の皆様や関係機関・団体等と連携し地域福祉活動を推進してまいります。

是非、次回の地域懇談会にご参加ください。心よりお待ちしております。

本計画と活動について変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

ご協力ありがとうございました。

(裏面参照)

『支え合い・助け合いによるまちづくり!』

☆世代間交流の促進

子どもと高齢者など、さまざまな世代間の交流を促進し、地域内でのつながりの強化に努めています。

三世代交流

子どもや親、祖父母と一緒に地域の歴史や文化を学び、昔の遊びを通じて、世代間の交流を図る事業です。助成内容：材料費や使用料など

レクリエーション等物品貸し出し

自治会や子ども会などの交流の場で使用できるレクリエーション物品や福祉体験グッズの貸し出しをします。

例：大型紙芝居や絵本、思いでカルタ、ナンバーストライク、高齢者擬似体験セット など



☆市民が交流できる場の確保

今ある施設などを活用し、地域の人が交流できる場の確保に努めています。

(※ 民生委員児童委員や地域住民にもご協力いただきます。)

ふれあいいいきサロン

65 歳以上の高齢者や障がいのある人、子育て中の人などが、地域で孤立しないように気軽に集える交流の場です。助成内容：65 歳以上、就学前の子育て中の親子、障がい児者
月 1 回一人当たり 100 円助成（30 人上限）

高齢者会食サービス

70 歳以上のひとり暮らし高齢者の孤立防止と、社会参加の促進を図るために、会食を行う場です。助成内容：70 歳以上 月 1 回一人当たり 300 円助成（上限なし）

